

東北地方太平洋沖地震で被災された会員の皆様へ

一般社団法人情報処理学会
会長 白鳥 則郎

このたびの「東北地方太平洋沖地震」により、被害を受けられた皆さまに、心よりお見舞い申しあげます。

本学会では、地震の被害が甚大であることから、被災に遭われた会員の皆様に対し、全力で支援に努めたいと考えております。

このたび本会理事会では、被災に遭われた会員の方々の 2011 年度（平成 23 年度）会費を免除することを決議いたしました。つきましては、ご面倒をおかけいたしますが、震災による会費免除の申請を希望される場合は、以下の申請方法により、会員サービス部門までご連絡くださいますようお願いいたします。

また、3 月中旬に予定しておりました会誌 3 月号・会員証の発送は、各運送会社・郵便事業会社の集配状況から東北地方および茨城県・北海道については見合わせることにいたしました。今後の状況を確認しつつ、後日、発送させていただく予定です。

なお、インターネットを利用できる方は、電子図書館に会誌を掲載しておりますのでこちらをご利用ください。

被災地の皆さまの安全と、一日も早い復興を心よりお祈り申し上げます。

【震災による会費免除の申請方法】

次の内容を Web サイトの送信フォーム・メール・電話・FAX などでご連絡ください。

- (1) 会員番号（会員番号が不明な方は生年月日をお知らせください）
- (2) 氏名
- (3) 住所
- (4) 勤務先
- (5) 被災状況など

Web サイトから連絡が可能な方は次の送信フォームをご利用ください。

<https://www.ipsj.or.jp/01kyotsu/contact/kaiin.html>

【電子図書館で会誌を無料閲覧する方法】

■電子図書館（情報学広場）を利用する場合

すでにユーザ登録されている方は、次の URL 内の右上の「ログイン」をクリックしてください。

<http://ipsj.ixsq.nii.ac.jp/ej/>

ユーザ登録をされていない方は、毎月上旬に送信している次の件名のメール内容に従ってユーザ登録を行います。登録完了メールが到着後ご利用いただけます。

メール件名：[情報学広場：情報処理学会電子図書館] ユーザー登録のご案内

詳しくは次の URL に記載しております。

http://www.ipsj.or.jp/05system/digital_library/ipsj-nii-dl.html

■電子図書館（BookPark）を利用する場合

次の URL 内で左側の「はじめてのお客様へ」「ユーザ登録（無料）」からユーザ登録を行います。登録完了メールが到着後ご利用いただけます。

<http://www.bookpark.ne.jp/ipsj/>

詳しくは次の URL に記載しております。

http://www.ipsj.or.jp/05system/digital_library/index.html



新刊!!

ITText 離散数学

松原良太・大島彰昇・藤田慎也・小関健太・
中上川友樹・佐久間雅・津垣正男 共著
A5判 / 256頁 / 本体2,800円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報ネットワーク

岡田 正・駒谷昇一・西原清一・水野一徳 共著
A5判 / 160頁 / 本体2,300円(税別)

ITText メディア学概論

山口治男 著
A5判 / 172頁 / 本体2,400円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報と社会

駒谷昇一 編著
A5判 / 220頁 / 本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報システム基礎

神沼靖子 編著
A5判 / 228頁 / 本体2,500円(税別)

ITText 一般教育シリーズ 情報とコンピューティング

河村一樹 編著
A5判 / 218頁 / 本体2,500円(税別)

ITText コンパイラとパーチャルマシン

今城哲二・布広永示・岩澤京子・千葉雄司 共著
A5判 / 212頁 / 本体2,800円(税別)

ITText コンピュータグラフィックス

魏 大名・Carl Vilbrandt・Roman Durikovic・先田和弘・
向井信彦 共著
A5判 / 280頁 / 本体3,000円(税別)

ITText コンピュータネットワーク

松下 温・重野 寛・屋代智之 共著
A5判 / 216頁 / 本体2,500円(税別)

ITText 音声認識システム

鹿野清宏・伊藤克巨・河原達也・武田一哉・山本幹雄 編著
A5判 / 216頁 / CD-ROM付 / 本体3,500円(税別)

ITText エージェント工学

西田豊明・木下哲男・北村泰彦・間瀬健二 共著
A5判 / 226頁 / 本体2,800円(税別)

ITText ヒューマンコンピュータ インタラクション

岡田謙一・西田正吾・葛岡英明・塩澤秀和・仲谷美江 共著
A5判 / 240頁 / 本体2,800円(税別)

ITText オペレーティングシステム

野口健一郎 著
A5判 / 240頁 / 本体2,800円(税別)

ITText データベース

速水治夫・宮崎収兄・山崎清明 共著
A5判 / 196頁 / 本体2,500円(税別)

ITText ソフトウェア工学演習

伊藤 潔・廣田豊彦・富士 隆・熊谷 敏・川端 亮 共著
A5判 / 228頁 / 本体2,800円(税別)

ITText 情報リテラシー

海野 敏・田村恭久 共著
A5判 / 248頁 / 本体2,800円(税別)

ITText 人工知能

本位田真一 監修 松本一教・宮原哲浩・永井保夫 共著
A5判 / 200頁 / 本体2,500円(税別)

ITText コンピュータアーキ テクチャ

内田啓一郎・小柳 滋 共著
A5判 / 236頁 / 本体2,800円(税別)

ITText データマイニングの基礎

元田 浩・津本周作・山口高平・沼尾正行 共著
A5判 / 292頁 / 本体3,200円(税別)

ITText 自然言語処理

天野真家・石崎 俊・宇津呂武仁・成田真澄・福本淳一 共著
A5判 / 192頁 / 本体2,500円(税別)

ITText 応用Web技術

市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判 / 210頁 / 本体2,500円(税別)

ITText 認知インタフェース

加藤 隆 著
A5判 / 248頁 / 本体2,800円(税別)

ITText プログラム仕様記述論

荒木啓二郎・張 漢明 共著
A5判 / 210頁 / 本体2,800円(税別)

ITText 情報と職業

駒谷昇一・辰己丈夫・楠元範明 共著
A5判 / 232頁 / 本体2,500円(税別)

ITText アルゴリズム論

浅野哲夫・和田幸一・増澤利光 共著
A5判 / 242頁 / 本体2,800円(税別)

ITText ソフトウェア開発

小泉寿男・辻 秀一・吉田幸二・中島 毅 共著
A5判 / 224頁 / 本体2,800円(税別)

ITText 基礎Web技術

松下 温 監修 / 市村 哲・宇田隆哉・伊藤雅仁 共著
A5判 / 200頁 / 本体2,500円(税別)

ITText 知識マネジメント

大澤幸生 編著
A5判 / 232頁 / 本体2,800円(税別)

ITText 情報セキュリティ

宮地充子・菊池浩明 編著
A5判 / 280頁 / 本体3,000円(税別)

ITText 分散処理

谷口秀夫 編著
A5判 / 240頁 / 本体2,800円(税別)

ITText Linux演習

前野謙二・落合 昭・生野莊一郎・塩澤秀和・高島俊徳 共著
A5判 / 224頁 / 本体2,500円(税別)

ITText インターネットプロトコル

阪田史郎 編著
A5判 / 272頁 / 本体2,800円(税別)

ITText 組込みシステム

阪田史郎 著 高田広章 編著
A5判 / 280頁 / 本体3,000円(税別)

ITText システムLSI設計工学

藤田昌宏 編著
A5判 / 242頁 / 本体2,800円(税別)

ITText Java基本プログラミング

今城哲二 編 布広永示・マッキン ケネスジェームス・
大見嘉弘 共著
A5判 / 234頁 / 本体2,500円(税別)

ITText 人画像処理

越後富夫・岩井儀雄・森島繁生・鷺見和彦・井岡幹博・
八木康史 共著
A5判 / 258頁 / 本体2,800円(税別)

ITText 情報理論

白木善尚 編 村松 純・岩田賢一・有村光晴・渋谷智治 共著
A5判 / 248頁 / 本体2,800円(税別)

ITText Java/UMLによる アプリケーション開発

布広永示・高橋英男 共著
A5判 / 208頁 / 本体2,600円(税別)

ITText Javaオブジェクト指向 プログラミング

布広永示 編著
A5判 / 280頁 / 本体2,800円(税別)

ITText ユビキタスコンピュー ティング

松下 温・佐藤明雄・重野 寛・屋代智之 共著
A5判 / 222頁 / 本体2,800円(税別)

ITText HPCプログラミング

寒川 光・藤野清次・長崎利夫・高橋大介 共著
A5判 / 246頁 / 本体2,800円(税別)

ITText 確率統計学

須子統太・鈴木 誠・浮田善文・小林 学・後藤正幸 共著
A5判 / 264頁 / 本体2,800円(税別)

お申し込みは

 **オーム社**

101-8460 東京都千代田区神田錦町3-1
TEL 03(3233)0641 FAX 03(3293)6224

<http://www.ohmsha.co.jp/>
本体価格(税別)は変更する場合があります。

会員の広場

Member's Voice

今月の会員の広場では、1月号へのご意見・ご感想を紹介いたします。まず、特集「未来社会をプロデュースするICT」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■日々、PCを持ち歩く身としては、「電源コードをなくす」という領域で研究が進んでいることが分かり、嬉しかった。早期の実現を期待する。(匿名希望)

■冒頭にも書かれているが、ネットワーク関係に偏った内容であった。次回、他の技術についての記事を期待したい。(匿名希望)

■若い世代がどのような切り口でこれからを見ているかが分かり、興味深かったです。(匿名希望)

■「学びと教を豊かにする」では、教育現場におけるICTを介した学びと教の関係はどうあるべきかという視点の重要性を教えられた。このようなテーマが別の機会に取り上げられることを期待したい。(匿名希望)

■少しでも未来の社会をより良いものにしていこうと考えながら日々研究をしていることもあるので、未来社会をプロデュースするICTの記事はすべてが大変興味深く面白く拝読いたしました。モチベーションがわきました。(匿名希望)

■ここ10年のICTの発展には目を見張るものがあり、ICTがプロデュースする次の10年にさらに期待したいと思いました。(匿名希望)

■「クルマをネットワーク化する」では、スマートフォンがカーナビに「とってかわる」可能性を指摘されているが、「とってかわる」というよりも融合して、スマートフォンとカーナビで一方のコンテンツがもう一方へ転用されることが頻繁に起こり、その両者の境界がなくなるかもしれないとの印象を受けた。「モバイルICTで人、モノ、システムを深くつなげる」では、深くつながる社会に向けたキー技術を表現した、Always On, Always Supportという言葉が印象に残った。「大規模データベースと装着型センサで人間行動を理解する」では、ラベル付けである「行動識別」と、情報の

抽出である「行動解析」を合わせて「行動識別」と呼び、さらに行動の意味と予測を含めて全体を「行動理解」と呼ぶことを提起されていて、実に明快で分かりやすいと思った。「電源コードをなくす」では、環境中に存在する微少なエネルギーを電気に変換して回収する「エナジーハーベスティング」が初耳だった。この用語は、私の中で今号の流行語大賞である。(大垣憲俊)

■人間の行動をパターン化することに不安を感じました。パターン化された情報で人を判断し評価するようになる、人類の進歩が止まってしまうのではないのでしょうか。それを防ぐためには、基礎技術の進歩以上にアプリケーションの進歩が必要で、さらにそれ以上にユーザへの啓蒙や危機対策も必要になるのだらうと思います。(阿南佳之)

■さまざまな分野の数年前の姿が概観できた。欲を言えば、現在の取り組みよりも将来のグランドデザインを中心とした記事がもっとあると良かった。(坂川浩二郎)

小特集「音声・映像認識連携への取り組み」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■「音声・映像情報の構造化と検索」は私の専門分野とはまったく異なりますが、技術の実用化例が具体的に非常に分かりやすく解説されており感心しました。(匿名希望)

道しるべ「ロボカップ道しるべ：小型ロボットリーグ」については、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■小型ロボットリーグについて、Webで検索して動画を見たところ、思ったよりも動作が機敏で少し動揺したが、ヒューマノイド型は、まだまだこれから大きく進歩しそう。確かに、楽しみながらプログラムや制御の知識が身につくそう。(匿名希望)

連載「古機巡礼 / 二進伝心：オーラルヒストリー：喜安善市氏インタビュー」につきましては、以下のようなご意見・ご感想をいただきました。

■なんとなく読み始めてみたというのが正直なところです。しかし非線形とパラメトロン of 原理、翻訳された特許など、先生の体験から得られたお話には、時代を越えて心を捉えるものを感じました。(匿名希望)

座談会「情報学系長、おおいに語る」につきましては、以下のよう
なご意見・ご感想をいただきました。

■現在の大学の状況や取り組みがよく分かって有効
だった。(高橋慈子)

会誌の内容や今後取り上げてほしいテーマに関して、以下のよ
うなご意見やご要望をお寄せいただきました。今後の参考にいた
します。

■自然言語処理において、音声認識技術がどの程度進
んでいるのかを知りたい。(人見憲司)

■今回の特集記事は見開き2ページのものが多く、
ちょっとした空き時間でも読めるため、非常に読みやす
かった。もう少し情報がほしいと思った記事がなく
もないが、必要なら参考文献を検索すれば良い。読み
応えのある長い記事もよいが、たまには、短い記事で
トピックを多く提供するの也不错ではないか。
(匿名希望)

■「会員の広場」について、ポジティブな意見だけ
でなく、ネガティブな意見も載せてほしいと思う。
(大垣憲俊)

■新年号としてきわめて力が入った内容で読み応えも

あり、知識の広がりやこれからの技術について分かり
やすいものばかりであった。(花田英輔)

■最近の学生の方々はプログラミングが不得手な人の
割合が多いという話は大学教員の友人からよく聞いて
いる。それを解決する策として、「プログラミング、何
をどう教えているか」で報告されているように、たと
えばビジュアルプログラミングを取り上げる等、教育
する側も創意工夫や日々の情報収集が必要であること
を痛感した。(匿名希望)

■大学学部の初年次教育におけるプログラミング教育
のありかた、および最低限身につけるべき知識・スキ
ルについて、具体的事例を紹介する記事が、多数あれ
ばよいと思います。(水野光朗)

■スマートフォンのアプリケーション開発について。
(馬目洋一)

■全体的に読みやすい記事が多く、コンパクトにまと
まっている点もさまざまなテーマの現状を知るのに役
立ちました。概論より、具体的な課題と展望が書かれ
ている記事の評価しました。(高橋慈子)

【本欄担当 服部宏充、江田毅晴／書評・ニュース分野】

これらのコメントは Web 版会員の広場「読者からの声」<URL:<http://www.ipsj.or.jp/07editj/dokusha/dokusha.html>> に掲載して
いますので、そちらもご参照ください。会誌や掲載記事に関するご意見・ご感想は学会 Web ページでも受け付けております。今後もよりよい
会誌を作るため、ぜひ皆様のお声をお寄せください。

皆様にとって会誌をより役立つものとするため、

- ・記事に対する感想、意見
- ・記事テーマの提案
- ・会誌または学会に対する全般的な意見、提言
- ・その他、情報処理技術についての全般的な意見、提言

など自由なご意見、ご感想をお待ちしております。

なお、「道しるべ」については

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/07editj/toukou/michishirube/michishirube.html>> で

これからのテーマ案を募集しており、いただいたご意見をまとめております。

※ご意見、ご感想を会誌に掲載させていただいた方には薄謝または記念品を進呈いたします。

掲載に際しては、編集の都合上、ご意見に手を加えさせていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。なお、意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いいたします。

<URL : <http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html>>

応募先 〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
情報処理学会 会誌編集部門
E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax (03) 3518-8375
<https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>

ご意見をお寄せ
ください!!



IPSIJ カレンダー

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
	論文誌「ソフトウェア工学」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-F.html	5月10日(火)		
	論文誌「社会活動を支える情報システム」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-D.html	5月16日(月)		
	論文誌「分散処理とネットワークサービス」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-K.html	5月23日(月)		
	論文誌「エンタテインメントコンピューティング」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-M.html	6月10日(金)		
	論文誌「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-N.html	6月20日(月)		
	論文誌「ディベンダブルなシステムの構築・運用・管理技術」特集への論文投稿 http://www.ipsj.or.jp/08editt/journal/tokushu/12-H.html	6月20日(月)		
4月20日(水)	北海道支部平成23年度支部総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			北海道大学大学院情報科学研究科
5月12日(木)～	第4回教育学習支援情報システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CLE4.html	3月11日(金)	当日のみ	長岡科学技術大学
5月13日(金)				
5月12日(木)～	第53回コンピュータセキュリティ・第13回インターネットと運用技術合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CSEC53IOT13.html	3月18日(金)	当日のみ	秋田大学ベンチャー・ビジネス・ラボラトリー
5月13日(金)				
5月12日(木)～	第90回音楽情報科学研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/MUS90.html	3月21日(月)	当日のみ	京都産業大学
5月13日(金)				
5月13日(金)～	第20回エンタテインメントコンピューティング研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/EC20.html	3月14日(月)	当日のみ	筑波大学
5月14日(土)				
5月16日(月)	東海支部平成23年度支部総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			ルブラ王山(愛知県名古屋)
5月16日(月)	東海支部主催講演「つながる脳」 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html		参加無料 会員以外の方も参加可	ルブラ王山(愛知県名古屋)
5月16日(月)	第135回アルゴリズム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/AL135.html	3月11日(金)	当日のみ	秋田県立大学 本荘キャンパス
5月16日(月)～	第201回自然言語処理・第86回音声言語情報処理合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/NL201SLP86.html	3月23日(水)	当日のみ	東京大学 本郷キャンパス
5月17日(火)				
5月17日(火)	関西支部平成23年度支部総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			京都市サーチパーク
5月17日(火)	第83回数理モデル化と問題解決研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/MPS83.html	3月22日(火)	当日のみ	岡山県立大学
5月18日(水)～	第150回システムLSI設計技術研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/SLDM150.html	3月18日(金)	当日のみ	北九州国際会議場
5月19日(木)				
5月19日(木)	第52回電子化知的財産・社会基盤研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/EIP52.html	3月21日(月)	当日のみ	東京理科大学
5月19日(木)～	第1回コンシューマ・デバイス&システム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CDS1.html		当日のみ	同志社大学東京オフィス
5月20日(金)				
5月19日(木)～	第177回コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CVIM177.html	3月8日(火)	当日のみ	大阪大学吹田キャンパス
5月20日(金)				
5月19日(木)～	第80回グループウェアとネットワークサービス研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/GN80.html	3月18日(金)	当日のみ	NTT 武蔵野研究開発センター
5月20日(金)				
5月20日(金)	四国支部平成23年度支部総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			愛媛大学
5月中旬頃	九州支部平成23年度支部総会			未定
5月21日(土)	北陸支部平成23年度支部総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			福井大学総合研究棟
5月21日(土)	第90回人文科学とコンピュータ研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/CH90.html	3月22日(火)	当日のみ	同志社大学室町キャンパス
5月25日(水)～	先進的計算基盤システムシンポジウム (SACIS2011) http://sacis.hpcc.jp/2011/	1月21日(金)		秋葉原
5月27日(金)				コンベンションホール
5月27日(金)	中国支部平成23年度支部総会 http://www.ipsj.or.jp/03somu/shibu/tayori/tayori.html			広島市まちづくり市民交流プラザ
5月27日(金)	第143回ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会 http://www.sighci.jp/events/sig/143	3月28日(月)	当日のみ	名古屋大学
5月27日(金)	第30回ユビキタスコンピューティングシステム研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/UBI30.html	3月25日(金)	当日のみ	東芝科学館
5月27日(金)	第1回情報セキュリティ心理学とトラスト研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/SPT1.html	3月28日(月)	当日のみ	東京大学生産技術研究所
6月頃	第147回マルチメディア通信と分散処理・第58回モバイルコンピューティングとユビキタス通信合同研究発表会 http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/DPS147MBL58.html		当日のみ	健康文化村カルチャーリゾートフェストーネ(沖縄県宜野湾市)
7月6日(水)～	マルチメディア, 分散, 協調とモバイル (DICOMO2011) シンポジウム http://www.dicomo.org/2011/cfp.html	3月9日(水)		月岡温泉 泉慶
7月8日(金)				
7月11日(月)～	第54回コンピュータセキュリティ研究発表会 http://www.iwsec.org/csec/		当日のみ	静岡大学
7月13日(水)				

開催日	名 称	論文等応募締切日	参加締切日	開催地
7月18日(月)～ 7月22日(金)	The 2011 Symposium on Applications and the Internet (SAINT2011) http://saintconference.org/			Munich, Germany
7月20日(水)～ 7月22日(金)	第14回画像の認識・理解シンポジウム (MIRU2011) http://cvim.ipsj.or.jp/miru2011/		当日可	金沢市文化ホール
8月30日(火)～ 8月31日(水)	6th International Conference on Collaboration Technologies (CollabTech 2011) http://www.collabtech.org/			東京
8月31日(水)～ 9月1日(木)	DAシンポジウム2011 -システムLSI設計技術とDA- http://www.ipsj.or.jp/09sig/kaikoku/2011/S-DA2011.html	5月6日(金)		ホテル下呂温泉水明館
9月7日(水)～ 9月9日(金)	FIT2011 第10回情報科学技術フォーラム http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2011/index.html			函館大学・函館短期大学
9月12日(月)～ 9月14日(水)	ソフトウェアエンジニアリングシンポジウム2011 (SES2011) http://ytx.ws.hosei.ac.jp/SES2011/	5月10日(火)		東京女子大学
10月26日(水)～ 10月28日(金)	The 6th International Conference on Mobile Computing and Ubiquitous Networking (ICMU2011) http://www.icmu.org/			九州大学西新プラザ
11月8日(火)～ 11月10日(木)	The Sixth International Workshop on Security (IWSEC2011) http://www.iwsec.org/			東京大学生産技術研究所 コンベンションホール
2012年				
3月6日(火)～ 3月8日(木)	情報処理学会 第74回全国大会 http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/taikai/74kai/index.html			名古屋工業大学
11月11日(日)～ 11月15日(木)	ICPR2012 第21回パターン認識国際会議 http://www.icpr2012.org/			つくば国際会議場

東日本大震災の影響により、開催場所や日程が変更される可能性があります。

最新情報は Web ページでご確認ください。



Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/>) 更新情報

[トピックス]

- 3月18日 震災に伴う学会主催イベントの当面の扱いについて (お知らせ)
- 3月18日 情報基礎とアクセス技術・デジタルドキュメント合同研究発表会・知能システム研究発表会・エンタテインメントコンピューティング研究発表会開催中止のお知らせ
- 3月15日 システム LSI 設計技術・組込みシステム合同研究発表会開催中止のお知らせ
- 3月15日 人材募集情報 (3月) を更新しました
- 3月14日 3月開催のソフトウェア工学研究発表会・情報システムと社会環境研究発表会・ハイパフォーマンスコンピューティング研究発表会・プログラミング研究発表会・ヒューマンコンピュータインタラクション研究発表会・コンピュータビジョンとイメージメディア研究発表会開催中止のお知らせ
- 3月14日 電子図書館 (情報学広場) はサービスを停止しています
- 3月9日 「インタラクションの理解および基盤・応用技術」特集の論文募集
- 2月23日 [プレスリリース] 「情報処理技術遺産および分散コンピュータ博物館認定式」開催～2011年3月2日東京工業大学 大岡山キャンパス～

人材募集 (有料会告)



申込方法: 任意の用紙に件名, 申込者氏名, 勤務先, 職名, 住所, 電話番号および請求書宛先, Web掲載の有無などを記載し, 掲載希望原稿 ([募集職種, 募集人員, (所属), 専門分野, (担当科目), 応募資格, 着任時期, 提出書類, 応募締切, 送付先, 照会先]) を添えて下記の申込先へ E-mail, Fax または郵送にてお申し込みください。

*都合により編集させていただく場合がありますので, ご了承ください。

申込期限: 毎月 15 日を締切日とし翌月号 (15 日発行) に掲載します。

掲載料金: 国公立教育機関, 国公立研究機関 21,000 円 (税込)

賛助会員 (企業) 31,500 円 ()

賛助会員以外の企業 52,500 円 ()

*本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り, 追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。

申込先: 情報処理学会 会誌編集部門 (有料会告係) E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8375

*原稿受付の際には必ず原稿受領のお知らせを差し上げています。もし返信がない場合は念のため確認のご連絡をください。

*特に指定がないかぎり履歴書には写真を貼付のこと

■防衛大学校電気情報学群情報工学科

募集人員 教授 1名
 専門分野 セキュリティ工学のサイバーテロおよびその対策などの分野
 応募資格 博士の学位を有し, 大学院および学部の教育研究を担当できる方
 提出書類 Webページ (<http://www.mod.go.jp/nda>)参照
 応募締切 平成23年4月25日 (必着)
 送付先/照会先 〒239-8686 神奈川県横須賀市走水1-10-20 防衛大学校電気情報学群情報工学科 黒川恭一
 E-mail:kuro@nda.ac.jp Tel(046)841-3810 (ext. 2219)
 「教官募集書類在中」と朱書し簡易書留 *応募書類は返却いたしません

■広島大学大学院総合科学研究科

募集人員 教授 1名
 所属 工学研究院情報部門 (総合科学部に併任となり, 総合科学部の学部教育および教養教育を担当していただきます)
 専門分野 情報工学 (教養教育で統計学科目を担当可能な方)
 応募資格 博士の学位を有し, 博士課程の指導ができる方
 着任時期 平成23年10月1日以降のできるだけ早い時期
 提出書類 (1)履歴書, (2)研究業績リスト, (3)研究論文概要 (A4用紙2枚以内), (4)学位論文, 査読付き主要学術雑誌論文別刷 (10編以内), (5)今後の研究計画 (A4用紙2枚以内), (6)教育実績および教育業績, (7)教育に関する見解 (A4用紙1枚以内), (8)取得研究費 (過去10年間に取得した研究費のリスト), (9)応募者に関する所見を求め得る2名の方の氏名と連絡先
 応募締切 平成23年5月20日 (必着)
 送付先/照会先 〒739-8521 広島県東広島市鏡山1-7-1 広島大学大学院総合科学研究科気付大学院工学研究院情報部門 教授 栗田多喜夫
 「教員応募書類在中」と朱書し簡易書留等 E-mail:tkurita@hiroshima-u.ac.jp Tel(082)424-6468
 その他 詳細はWebページ (<http://www.hiroshima-u.ac.jp/index-j.html>)の採用・就職・求人ページを参照ください

■鹿児島大学大学院理工学研究科

募集人員 助教 1名
 所属 電気電子工学専攻
 専門分野 通信システムのハードウェアに関する分野
 応募資格 電気電子工学分野で博士の学位を有し, 当該専門分野における研究業績があり, 学部・大学院の教育と研究を担当できる方
 着任時期 平成23年10月1日 (予定)
 提出書類 履歴書, 審査調書*, 主要論文別刷 (3編以内, コピー可), 参考となる意見を伺える方2名の氏名と連絡先
 *詳細はWebページ (<http://www.eng.kagoshima-u.ac.jp/><社会人, 一般の皆様へ>)をご覧ください
 応募締切 平成23年5月27日 (必着)
 送付先 〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-21-40 鹿児島大学大学院理工学研究科 教員選考委員会 (工学系事務課総務係気付)
 選考委員長 吉田昌弘 「教員応募書類」と朱書し書留
 照会先 電気電子工学専攻 宮島廣美 E-mail:miya@eee.kagoshima-u.ac.jp Tel(099)285-8422
 その他 詳細はWebページ (<http://hh.kuas.kagoshima-u.ac.jp/saiyou/saiyou.htm>)をご覧ください

■福岡工業大学情報工学部情報システム工学科

募集人員 教授または准教授 いずれか1名
 専門分野 情報処理工学分野
 担当科目 情報工学, システム工学(組込みソフトウェア, 計算機工学, 情報処理工学実験 等)
 応募資格 専門分野の研究業績があり, 博士の学位を有する方, 大学院の教育・研究指導が可能な方, 実験や研究で実践的な学生指導ができる方, 教育歴のあることが望ましい *本学は65歳定年です
 着任時期 平成23年10月1日または平成24年4月1日
 提出書類 (1)履歴書(学歴, 職歴, 学会および社会における活動等), (2)研究業績リスト(査読付き論文とその他の論文を区別すること, また, 外部資金の獲得実績や特許などもあれば記載すること), (3)主要論文別刷(5編程度), (4)これまでの研究概要と今後の研究計画, (5)教育歴(これまでの担当科目や教育改善の取り組み, オープンキャンパスなどでの展示, 出前講義などについてもあれば記載すること), (6)教育に対する抱負(JABEE認定を含む)(1000字程度)
 *紙での提出のほか, 電子ファイル等のデジタルデータでも提出してください。ただし(3)は除く
 応募締切 平成23年5月27日(必着)
 送付先 〒811-0295 福岡県福岡市東区白東3-30-1 福岡工業大学 教務課長 本行義洋 Tel(092)606-0647 Fax(092)606-7310
 「情報システム工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *原則として応募書類は返却いたしません
 照会先 情報システム工学科 教授 木室義彦 E-mail:kimuro@fit.ac.jp Tel(092)606-4813(ダイヤルイン) Fax(092)606-0754(学科事務室)

■大阪市立大学大学院工学研究科

募集人員 准教授(常勤) 1名
 専門分野 情報処理関連(ロボティクス, 人工知能, 画像処理等)
 担当科目 情報処理関連科目
 応募資格 博士の学位を有すること, また博士課程の指導ができることが望ましい
 着任時期 平成23年10月1日
 提出書類 (1)履歴書, (2)業績リスト(原著論文, 国際会議(査読付き), 著書, その他に分類すること), (3)競争的資金の獲得状況, (4)現在までの研究概要(2000字程度), (5)主要論文別刷(10編), (6)今後の教育・研究計画(2000字程度), (7)推薦書または所見を求め得る方2名の氏名と連絡先, (8)その他特記事項(特許, 学会活動, 社会活動, 経験業務内容)
 応募締切 平成23年5月31日(必着)
 送付先/照会先 〒558-8585 大阪府大阪市住吉区杉本3-3-138 大阪市立大学大学院工学研究科電子情報系専攻 教授 原 晋介
 E-mail:hara@info.eng.osaka-cu.ac.jp Tel(06)6605-2795 「准教授応募書類在中」と朱書き簡易書留
 *応募書類は返却いたしません
 その他 【選考方法】書類による1次審査後, 面接による2次審査を実施
 詳細はWebページ(<http://www.eng.osaka-cu.ac.jp/previous/news/news110315info.pdf>)をご覧ください

■大妻女子大学社会情報学部社会情報学科

募集人員 教授もしくは准教授 1名
 所属 情報デザイン専攻
 専門分野 情報処理
 担当科目 経営情報システム, 統計処理および演習, 応用統計論および演習, プログラミング論および演習, 情報管理, 卒業研究など
 応募資格 出身学部不問, 博士の学位を有するか, またはこれと同等以上の教育・研究業績があって教育・研究・学生指導に熱意があること
 着任時期 平成24年4月1日(予定)
 提出書類 (1)履歴書(本専攻指定の書式*に準拠し, 押印), (2)研究業績リスト[学術論文(査読の有無を明記), 解説, 著書, 教科書, その他を区分する](本専攻指定の書式*に準拠), (3)主要論文別刷(3編, 各1部, コピー可)[その要旨を各A4用紙300字程度にまとめて添付], (4)着任後の教育・研究に関する抱負(A4用紙800字程度), (5)応募者の研究業績や人物を熟知しており照会が可能な方2名の名前とその連絡先
 *書式(履歴書, 研究業績リスト)のダウンロード先Webページ(<http://www.gakuin.otsuma.ac.jp/academy/recruit.html>)
 応募締切 平成23年5月31日(必着)
 送付先/照会先 〒206-8540 東京都多摩市唐木田2-7-1 大妻女子大学社会情報学部社会情報学科情報デザイン専攻 主任 本郷 健
 E-mail:sh-saiyou24@ml.otsuma.ac.jp 「教員応募書類在中」と朱書き簡易書留
 *応募書類は原則として返却しないが, もし返却希望があればその旨応募の際に書き添えること
 その他 【勤務形態】常勤(教授, 准教授の場合60歳定年, その後70歳まで5年ごとの再雇用制度あり)
 【勤務場所】大妻女子大学 多摩校(東京都多摩市唐木田2-7-1)
 最終選考の段階では面接を行い, 模擬授業をしていただくこともある。なお, 旅費は支給しない
 応募書類の個人情報, は, 本選考に限って使用いたします

■熊本大学大学院自然科学研究科

募集人員 助教 1名
 所属 情報電気電子工学専攻
 専門分野 情報工学, 電気工学, 電子工学のいずれかの分野
 担当科目 学部の情報電気電子工学分野関連の講義・実験・演習の担当など
 応募資格 博士の学位を有する女性研究者で, 研究者としての経験(ポストドクを含む)を有する方(規定により博士課程在籍者は採用できません)
 着任時期 採用決定後, できるだけ早い時期
 提出書類 履歴書(連絡先にE-mailアドレスも記入), 業績リスト(査読付き専門誌論文, 国際会議論文, 著書・総説・解説・研究報告, 学位論文, 特許, 受賞歴, 研究助成などの取得実績(代表・分担の別を明記すること)), 主要論文別刷(10編まで, コピー可), これまでの研究概要(2000字程度), 今後の研究計画と抱負(1000字程度), 学生の教育に対する抱負(1000字程度), 本人についての所見を求め得る方2名の氏名・役職・連絡先
 応募締切 平成23年5月31日(必着)
 送付先/照会先 〒860-8555 熊本県熊本市黒髪2-39-1 熊本大学大学院自然科学研究科情報電気電子工学専攻 専攻長 西本昌彦
 E-mail:nisimoto@cs.kumamoto-u.ac.jp Tel(096)342-3852 「教員応募書類」と朱書し郵便書留
 その他 詳細はWebページ (<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/saiyou>)をご覧ください

■電気通信大学情報理工学研究科

募集人員 教授または准教授 1名
 所属 情報・通信工学専攻
 専門分野 ネットワークコンピューティング・情報検索分野:クラウドコンピューティング, ネットワークセキュリティ, モバイルコンピューティング, 通信/インターネットプロトコル, コンテンツ配信, データマイニングなど
 担当科目 ネットワークコンピューティング, 情報検索関連の学部・大学院の専門科目. 学部の基礎教育科目についても担当することがある
 応募資格 (1)博士の学位を有し, 大学院生の指導が可能な方, (2)ネットワークコンピューティングまたは情報検索分野において実績があり, 教育と研究を通して同分野の発展に貢献できる方
 着任時期 平成23年10月1日以降のできるだけ早い時期(予定)
 提出書類 (1)応募申請書類* (履歴書, 研究業績リスト, 科研費などの外部資金取得実績を「VIIその他」に記入), (2)主要著書, 論文別刷(5編, コピー可), 可能であれば, PDFファイルにしたものをCD-Rに書き込んで添付してください, (3)研究概要と今後の研究計画書(A4用紙3枚以内, 上記専門分野との関連を明示のこと), (4)今までの教育経験と教育に関する抱負(A4用紙2枚以内), (5)参考となる意見を伺える方国内2名, 国外2名のお名前, 所属, 連絡先住所(E-mailアドレスを含む), および応募者との関係, (6)前記(1)~(5)の原本一揃えと共に, それらをA4用紙(片面)にコピーしたものを1部を原本に付けてください, (7)選考結果のお知らせに使用しますので, 宛先を記した定形封筒(80円切手貼付)をお送りください
 *応募申請書の様式を下記Webページよりダウンロードし, 記入してください
http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/pdf/oubo_sinseisyo.pdf (PDFファイル)
http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/date/oubo_sinseisyo.doc (MS-wordファイル)
 応募締切 平成23年5月31日(必着)
 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学情報理工学研究科情報・通信工学専攻事務室(西9-309)専攻長 来住直人
 「ネットワークコンピューティング・情報検索分野教員応募書類在中」と朱書し簡易書留. 併せて, 発送の旨を下記照会先へ, E-mailで, 件名(Subject名)「ネットワークコンピューティング・情報検索分野教員応募」としてお知らせください
 *応募書類は返却しません. また, 本選考以外の用途に使用することはありません
 照会先 情報理工学研究科情報・通信工学専攻 沼尾雅之 E-mail:numao@cs.uec.ac.jp Tel(042)443-5303
 その他 【勤務形態】常勤, 【給与】国立大学法人電気通信大学職員給与規定による
 【選考方法】書類審査を通過した方に対して, 人事面接による審査を行います. その際の交通費, 宿泊費は応募者の負担とさせていただきます
 本学では, すべての教員が学術院に所属し, 担当学部・研究科等へ配置されます
 本学では男女共同参画を積極的に推進しており, 詳しくは電気通信大学男女共同参画推進本部Webページ (http://www.uec.ac.jp/about/activity/gender_equality/)をご覧ください

■電気通信大学大学院情報理工学研究科

募集人員 テニユア・トラック助教(常勤) 1名
 所 属 知能機械工学専攻 先端ロボティクスコース
 専門分野 ヒューマンロボットコミュニケーション分野:コンピュータビジョン, パターン認識, 視覚情報処理, メディアインタフェース, 感性情報処理, または, これら諸技術の統合など
 担当科目 基礎科学実験, 学科専門実験など, 学部や大学院の研究指導にかかわることも可
 応募資格 (1)採用時に博士の学位を有しており, かつ, 上記専門分野において, 優秀な研究を推進していること, (2)博士号取得後10年以内であること, (3)ポスドクの実験, またはそれに相当する経験を有することが望ましい
 着任時期 平成23年10月1日以降のできるだけ早い時期(予定)
 提出書類 (1)応募申請書類(履歴書, 研究業績リスト), (2)主要著書, 論文別刷(5編以内, コピー可), (3)これまでの研究概要, (4)今後の研究計画概要, (5)今までの教育経験と教育に関する抱負, (6)参考となる意見を伺える方2名のお名前と連絡先
 応募締切 平成23年5月31日(日本時間の17時必着)
 送付先 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1-5-1 電気通信大学大学院情報理工学研究科知能機械工学専攻長 教授 前川 博
 「ヒューマンロボットコミュニケーション分野教員応募書類在中」と朱書き簡易書留。併せて, 発送の旨を下記照会先へE-mailによりお知らせください。E-mailのSubject欄には「教員応募書類送付」と記入してください。なお, 応募書類は返却しません
 照会先 知能機械工学専攻 教授 金子正秀 E-mail:kaneko@ee.uec.ac.jp Tel(042)443-5216
 その他 【任期】採用日から5年間。ただし, テニユア教員への採用が見送られた場合は, 転出などの準備のために, 最長2年間任期を延長することが可能
 詳細はWebページ(<http://www.uec.ac.jp/about/advertisement/>)を参照してください

■独立行政法人理化学研究所情報基盤センター

募集人員 技師 1名(定年制)
 募集職種 スーパーコンピュータの運用管理, 高度化, 計算機科学/計算科学の研究開発の支援など
 専門分野 計算機科学/計算科学
 応募資格 計算機科学/計算科学の博士号取得者(見込みも含む)または同等以上の研究経験を有する方
 着任時期 平成23年10月1日以降
 提出書類 履歴書, 業績リスト, 主要論文別刷, 推薦書2通(理事長宛), 抱負 *応募書類は返却しないことをご了承ください
 応募締切 平成23年5月31日(必着)
 送付先/照会先 〒351-0198 埼玉県和光市広沢2-1 (独)理化学研究所情報基盤センター 鈴木富男
 E-mail:suzuki@riken.jp Tel(048)467-9396 「技師応募書類在中」と朱書き簡易書留
 その他 詳細はWebページ(<http://www.riken.jp/>)から採用情報参照のこと

■名古屋大学大学院工学研究科

募集人員 教授 1名
 所 属 情報・通信工学分野 電子情報通信講座
 専門分野 制御応用(パワーエレクトロニクス, モータコントロール, モーションコントロール, 電気自動車, ロボットの電子システム, 知能ロボットなど)
 担当科目 大学院工学研究科電子情報システム専攻, 工学部電気電子・情報工学科における科目を担当
 応募資格 博士の学位を有する方, 研究のみならず, 学部学生・大学院生の教育にも熱意を持つ方
 着任時期 平成24年4月1日(予定)
 提出書類 以下の(1), (2), (4)~(7)の書類を電子ファイル(A4用紙PDF文章, USBメモリに格納のこと)にて, (3)についてもできれば電子ファイルにて提出すること。なお, (1)~(7)の紙媒体出力を一式添付すること
 (1)履歴書, (2)研究業績リスト(20件程度に被引用件数を併記すること), (3)主要論文別刷(5編), (4)これまでの研究概要(A4用紙2枚程度), (5)今後の研究計画および教育についての抱負(A4用紙1枚程度), (6)本人について照会可能者(2名以内)の氏名・所属・連絡先, (7)審査に役立つと応募者が判断するその他の事項(学会および社会活動, 教育経験など)
 応募締切 平成23年6月15日(必着)
 送付先/照会先 〒464-8603 愛知県名古屋市中千種区不老町 名古屋大学大学院工学研究科 電子情報システム専攻長 松村年郎
 E-mail:matumura@nuee.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-3316 Fax(052)789-3149
 「電子情報通信講座教授応募書類在中」と朱書き書留 *応募書類(USBを含む)は返却いたしません
 その他 Webページ(<http://www.nuee.nagoya-u.ac.jp/>)を参照のこと

■名古屋大学大学院情報科学研究科

- 募集人員 准教授または講師 1名
 所属 情報システム学専攻
 専門分野 組込みシステムのプラットフォームに関する理論と技術(特に、組込みシステム向けのマルチコア・メニーコア技術、リアルタイム性保証技術)
 応募資格 博士の学位を有する方
 着任時期 平成23年10月1日以降のなるべく早い時期
 提出書類 履歴書、研究業績リスト(著書、学術論文誌、国際会議などを区分して記述)、主要論文別刷(3編以内、コピー可)、これまでの研究概要(A4用紙2枚以内)、今後の研究計画(A4用紙1枚以内)、教育についての抱負(A4用紙1枚以内)、その他選考に役立つ情報(教育実績、学会および社会活動、獲得した外部資金、受賞、特許、ソフトウェア開発実績など)、応募者の業績について問い合わせることのできる方2名の氏名と連絡先
 応募締切 平成23年6月30日(必着)
 送付先/照会先 〒464-8603 愛知県名古屋市千種区不老町C3-1(631)
 名古屋大学大学院情報科学研究科 情報システム学専攻長 結縁祥治 E-mail:yuen@is.nagoya-u.ac.jp Tel(052)789-3649
 その他 詳細はWebページ(<http://www.is.nagoya-u.ac.jp/>)をご覧ください

■北見工業大学情報システム工学科

- 募集人員 助教 1名
 専門分野 情報システム工学関連分野
 担当科目 プログラミング関連実験演習科目
 応募資格 (1)博士の学位を有する方、または着任までに取得が確実な方、(2)教育研究に意欲を持って取り組める方、(3)外国語を母国語とする方の場合には、学生指導を含め学内諸業務の遂行が可能な日本語能力を有していること
 着任時期 平成23年10月1日以降、平成24年4月1日までのなるべく早い時期
 提出書類 (1)履歴書^{*}(高等学校入学以降)、(2)研究業績リスト^{*}(査読付き学術論文、国際会議プロシーディングス、参考論文(解説、紀要等)、著書、特許などに分類)、(3)すべての査読付き学術論文別刷(コピー可)、(4)外部資金獲得状況リスト、(5)これまでの研究の概要(1000字程度)、(6)今後の教育および研究に関する抱負(1000字程度)、(7)照会可能な方2名の所属、氏名、連絡先
^{*}履歴書、研究業績リストの様式は、北見工業大学Webページの教員公募からダウンロードしてください
 応募締切 平成23年7月1日(必着)
 送付先/照会先 〒090-8507 北海道北見市公園町165 北見工業大学情報システム工学科 学科長 三浦則明
 E-mail:miuranr@mail.kitami-it.ac.jp Tel(0157)26-9346(直通)「情報システム工学科助教応募書類在中」と朱書き書留
 その他 【任期】5年(ただし、審査により3年(1回)延長可能。また、条件を満たせば昇任可能)
 【選考方法】1次選考(書類審査)を通過した方について面接による選考を行います。なお、面接に伴う旅費等は応募者の負担となります

■中京大学情報理工学部情報システム工学科

- 募集人員 准教授または講師 1名
 専門分野 コンピュータのハードウェアおよびアーキテクチャに関連した工学分野
 担当科目 コンピュータのハードウェア、組み込みアーキテクチャ、電気電子回路、デジタル回路に関する情報工学基礎科目および実験科目の教育ならびに研究指導
 応募資格 原則として博士号学位を有する、あるいは着任までに取得見込みで、研究教育に熱意を持ち、専門分野の研究業績がある方
 着任時期 平成23年度内をめぐりにできるだけ早い時期
 提出書類 (1)履歴書(学歴(高校卒業以降)、職歴、学会・社会活動等)、(2)研究業績(研究論文(査読の有無を明記)、国際会議論文、解説論文、著書、特許、企業などにおける開発業績、その他)、(3)主要論文別刷(5編以内、コピー可)、(4)教育業績(実績)、(5)着任後の教育活動および研究活動に関する抱負(それぞれ800字程度)、(6)応募者に関する所見を求め得る方2名の氏名・連絡先、(7)健康診断書(医療機関で発行されたもの)
 応募締切 平成23年7月8日(必着)
 送付先/照会先 〒470-0393 愛知県豊田市貝津町床立101 中京大学情報理工学部 長谷川明生
 E-mail:jn2fse@sist.chukyo-u.ac.jp Tel(0565)46-1211(ext.6948)「情報理工学部教員応募書類」と朱書き
^{*}書類の返却を希望する場合は返却先を明記のこと。応募書類は本選考のためだけに使用し、それ以外には使用しません
 その他 【任期】専任、【給与】本学教育職員給与規程による
 【選考方法】書類審査の後、必要に応じて面接を行います(本学までの旅費は自己負担)

■松江工業高等専門学校情報工学科

募集人員 助教 1名
専門分野 ソフトウェア工学関連分野
担当科目 ソフトウェア工学, アルゴリズムとデータ構造など
応募資格 博士の学位を有する方(取得見込みの方を含む)。高等専門学校での教育・研究に強い意欲があり, 学生指導に積極的に取り組める方。担当科目に関して柔軟に対応できる方 *選考に当たっては女性を優先します
着任時期 平成24年4月1日
提出書類 履歴書(市販用紙(JIS規格)に本人直筆), 研究業績リスト(著書, 論文, 口頭発表等に区分すること), 主要論文別刷(3編以内, コピー可), これまでの研究概要(A4用紙1枚1000字以内), 教育実績がある方については教育概要(A4用紙1枚1000字以内), 高専の教育, 研究, 学生指導等に対する抱負(A4用紙2000字程度), 推薦状(別封, 親展), E-mailアドレス, 電話番号などの連絡先
応募締切 平成23年7月21日(必着)
送付先 〒690-8518 鳥根県松江市西生馬町14-4 松江工業高等専門学校 総務課人事・労務係
「情報工学科教員応募書類在中」と朱書き簡易書留 *提出書類は返却いたしません
照会先 情報工学科 福岡久雄 E-mail:fukuoka@matsue-ct.jp Tel(0852)36-5211
その他 詳細はWebページ (<http://www.matsue-ct.jp/>)をご覧ください

■神奈川大学理学部情報科学科

募集人員 教授・准教授・助教のいずれか 1名(本学では平成19年4月1日より助教授を准教授, 専任講師を助教に職名変更しました)
専門分野および担当科目 情報科学を専門とし, 情報の基礎科目としての離散数学(講義と演習)とプログラミング基礎教育を担当
着任時期 平成24年4月1日(予定)
提出書類 履歴書, 研究業績目録, 主要論文別刷(5編, コピー可), 今までの教育・研究の概要と, 教育・研究に対する抱負(3000字以内)(必要に応じて面談をお願いする場合があります)
*外国籍の方は「外国人登録証明書の写し」を添付してください
*選考の過程で健康診断書の提出を求めることがあります
応募締切 平成23年7月末
送付先 〒259-1293 神奈川県平塚市土屋2946 神奈川大学理学部長室 理学部長 齊藤光實
照会先 理学部情報科学科 主任 後藤智範 Tel(0463)59-4111



FIT2011 講演募集案内 第10回情報科学技術フォーラム

Web サイト <http://www.ipsj.or.jp/10jigyo/fit/fit2011/>

【会期】2011年9月7日(水)～9日(金)

【会場】函館大学・函館短期大学(北海道函館市)

情報処理学会(IPSJ)と電子情報通信学会情報・システムソサイエティ(ISS)並びにヒューマンコミュニケーショングループ(HCG)とは、2002年から合同で毎年秋季に、「情報科学技術フォーラム(FIT:Forum on Information Technology)」を開催しており、2011年9月には第10回目を函館大学および函館短期大学で開催します。

本フォーラムは、両学会の大会の流れを汲むものですが、従来の大会の形式にとらわれずに、新しい発表形式を導入し、タイムリーな情報発信、活気ある議論・討論、多彩な企画、他分野研究者との交流、などを実現してきております。

皆様の研究成果発表の場として、論文発表を募集致しますので奮って御応募下さい。

論文誌への道!

「FIT 査読付き論文」で優秀論文を論文誌へ推薦する制度

FIT では、情報分野のより一層の活性化を目的として、「FIT 査読付き論文」について優秀な論文を FIT として情報処理学会または電子情報通信学会の論文誌へ推薦する制度がございます。「FIT 査読付き論文」の申込と合わせて「論文誌への推薦希望」も受け付け致しますので、御希望の方は、Web からの講演申込みの際に「論文誌への推薦希望」欄にチェックを入れて下さい。論文誌へ推薦されるためには、完成度の高い論文であることが求められます。論文誌への推薦可否結果は、2011年6月22日(水)に推薦を希望された皆様にお知らせする予定です。本制度を利用し是非チャレンジして下さい。

※論文誌掲載の採否は、それぞれの学会の論文誌編集委員会が決定致します。

【FIT 論文表彰制度】

FIT の特徴の一つは、**船井ベストペーパー賞**、**FIT 論文賞**、**ヤングリサーチャー賞**からなる論文表彰制度にあり、以下のようにならめられます。皆様、是非ともチャレンジして下さい。

船井ベストペーパー賞	FIT 査読付き論文で採択された論文の中から、査読会議において各分野の応募総数の 5%を上限として優秀な論文を推薦し最終的に 10 件程度の論文を選定。選定された論文の中から受賞論文 3 件程度 を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2011 会期中)にて 賞金 20 万円 を船井情報科学振興財団より贈呈。
FIT 論文賞	上記船井ベストペーパー賞と同様の選定手続きを経て選定された論文 10 件程度の中から受賞論文 7 件程度 を選定。受賞論文には、表彰式(FIT2011 会期中)にて 賞金 5 万円 を FIT 推進委員会より贈呈。
ヤングリサーチャー賞	発表件数の 1.5%を上限として、2011 年 12 月 31 日現在で 33 歳未満の講演者(査読付き論文及び一般論文)を対象に優れた発表を選定。受賞者には 賞金 3 万円 を次回の FIT2012 の表彰式にて FIT 推進委員会より贈呈。

【申込みの方法、注意事項】

講演申込み及び論文原稿投稿は FIT2011Web サイトよりお願い致します。

一人が複数の発表を行うことを認めます。ただし、内容が極めて類似したものを数件にわたって発表することはできません。なお、会場数、会期日数など制約によりプログラム編成上、講演分野の変更を行うこともございますのであらかじめ御了承下さい。

【講演募集内容】

最近行った研究及び調査の報告、または成果を上げた新しい企画及び試験結果の報告、新製品の紹介等で、学術的に価値のある未発表のものに限ります。

論文の種類には、FIT 査読付き論文と FIT 一般論文があります。

FIT 査読付き論文 (4～8 ページ程度)

FIT 査読付き論文 (論文誌推薦希望) (6～8 ページ程度)

査読者や読者に研究内容が十分に伝わるように、最大 8 ページ程度に制限緩和された論文ページ数を活用して下さい。

【注 1】 査読付き論文に投稿されて不採録となった場合には、一般論文として扱います(一般論文での発表となります)。

【注 2】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)については、Web ページの募集分野で最新情報を御確認下さい。

【注 3】 FIT 査読付き論文を受け付ける研究分野(研究会)の選択は申込者様御自身の責任において適切に選択して下さい。

【注 4】 申込締切後、研究会での査読を行う際に、該当研究会で明らかに分野違い(研究会違い)と判断された論文については、査読プロセスには乗らずにクイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなりますのであらかじめ御了承下さい。

【注 5】 FIT 査読付き論文でページ数が 4 ページ以上ない場合はクイックリジェクト(即不採録)され FIT 一般論文扱いとなります。

【注 6】 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望)でページ数が 6 ページ以上ない場合は「論文誌推薦はしない」に即決し、FIT 査読付き論文としてのみの査読になります。

【注 7】 御自身の論文内容と一致した分野(査読受け入れ研究会)がない場合には、申し訳ございませんが FIT 査読付き論文として受け入れることができませんので、FIT 一般論文でのお申込みをお願い致します。

■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2011年3月 7日(月)

登録申込締切/査読用原稿の投稿締切

: 2011年4月21日(木)

査読の採否結果通知: 2011年6月22日(水)

論文誌への推薦可否結果通知(推薦希望者のみ)

: 2011年6月22日(水)

最終原稿投稿締切: 2011年7月 4日(月)

FIT 一般論文 (2～8 ページ程度)

情報技術に関する研究成果や調査報告等、広く募集致します。論文ページ数は 2～8 ページ程度になります。

また、査読を行わない分、登録申込・投稿受付開始並びに投稿締切が、「査読付き論文」の申込に比べて約 2 か月遅くなります。

■ 申込主要日程

登録申込/投稿受付開始: 2011年4月28日(木)

登録申込締切: 2011年5月27日(金)

最終原稿投稿締切: 2011年7月 4日(月)

【募集分野】

以下の 15 の分野で論文の募集を行います。

なお論文募集、FIT 査読付き論文の査読などは、情報処理学会と電子情報通信学会(情報・システムソサイエティ、ヒューマンコミュニケーショングループ)との研究会で進めます。各分野に対応する研究会は以下のようになります。

☆は情報処理学会

※は電子情報通信学会情報・システムソサイエティ

◇は電子情報通信学会ヒューマンコミュニケーショングループを示します。

FIT 査読付き論文の募集は行わず FIT 一般論文のみの募集となる研究会がございますので御注意下さい。

は FIT 査読付き論文も受け付ける研究会(研究分野)

- A:モデル・アルゴリズム・プログラミング
 - A-1 ☆アルゴリズム(AL)
 - A-2 ☆数理モデル化と問題解決(MPS)
 - A-3 ☆プログラミング(PRO)
 - A-4 ※コンピュータシミュレーション(COMP)
- B:ソフトウェア
 - B-1 ☆ソフトウェア工学(SE)
 - B-2 ☆ハイパフォーマンスコンピューティング(HPC)
 - B-3 ☆システムソフトウェアとオペレーティング・システム(OS)
 - B-4 ☆デジタル・ドキュメント(DD)
 - B-5 ※ソフトウェアサイエンス(SS)
 - B-6 ※知能ソフトウェア工学(KBSE)
- C:ハードウェア・アーキテクチャ
 - C-1 ☆システム LSI 設計技術(SLDM)
 - C-2 ☆計算機アーキテクチャ(ARC)
 - C-3 ☆組み込みシステム(EMB)
 - C-4 ※コンピュータシステム(CPSY)
 - C-5 ※ディペンダブルコンピューティング(DC)
 - C-6 ※リコンフィギャラブルシステム(RECONF)
- D:データベース
 - D-1 ☆データベースシステム(DBS)
 - D-2 ☆情報基礎とアクセス技術(IFAT)
 - D-3 ☆データ工学(DE)
- E:自然言語・音声・音楽
 - E-1 ☆自然言語処理(NL)
 - E-2 ☆音声言語情報処理(SLP)
 - E-3 ☆音楽情報科学(MUS)
 - E-4 ※言語理解とコミュニケーション(NLC)
 - E-5 ※音声(SP)
- F:人工知能・ゲーム
 - F-1 ☆知能システム(ICS)
 - F-2 ☆ゲーム情報学(GI)
 - F-3 ※人工知能と知識処理(AI)
 - F-4 ※情報論的学習理論と機械学習(IBISML)
- G:生体情報科学
 - G-1 ☆バイオ情報学(BIO)
 - G-2 ※ニューロコンピューティング(NC)
 - G-3 ※ME とバイオサイバネティクス(MBE)
 - G-4 ※医用画像(MI)
 - G-5 ※身体性情報学(IEB)
- H:画像認識・メディア理解
 - H-1 ☆コンピュータビジョンとイメージメディア(CVIM)
 - H-2 ※パターン認識・メディア理解(PRMU)
- I:グラフィクス・画像
 - I-1 ☆グラフィクスと CAD(CG)
 - I-2 ☆オーディオビジュアル複合情報処理(AVM)
 - I-3 ☆エンタテインメントコンピューティング(EC)
 - I-4 ※画像工学(IE)
- J:ヒューマンコミュニケーション&インタラクション
 - J-1 ☆ヒューマンコンピュータインタラクション(HCI)
 - J-2 ※異文化コラボレーション(IC)
 - J-3 ※クラウドネットワークロボット(CNR)
 - J-4 ◇ヒューマンコミュニケーション基礎(HCS)
 - J-5 ◇ヒューマン情報処理(HIP)
- K:教育工学・福祉工学・マルチメディア応用
 - K-1 ※教育工学(ET)
 - K-2 ※サイバーワールド(CW)
 - K-3 ※マルチメディア情報ハイディング・エンリッチメント(EMM)
 - K-4 ◇マルチメディア・仮想環境基礎(MVE)
 - K-5 ◇福祉情報工学(WIT)
- L:ネットワーク・セキュリティ
 - L-1 ☆インターネットと運用技術(IOT)
 - L-2 ☆コンピュータセキュリティ(CSEC)
 - L-3 ☆システム評価(EVA)
 - L-4 ※情報通信システムセキュリティ(ICSS)
- M: ユビキタス・モバイルコンピューティング
 - M-1 ☆グループウェアとネットワークサービス(GN)
 - M-2 ☆ユビキタスコンピューティングシステム(UBI)
 - M-3 ☆モバイルコンピューティングとユビキタス通信(MBL)
 - M-4 ☆高度交通システム(ITS)
 - M-5 ☆マルチメディア通信と分散処理(DPS)
 - M-6 ※ユビキタスコンピューティング(UBIC)
- N:教育・人文科学
 - N-1 ☆コンピュータと教育(CE)

- N-2 ☆人文科学とコンピュータ(CH)
- N-3 ☆電子化知的財産・社会基盤(EIP)
- N-4 ☆教育学習支援情報システム(CLE)

- O:情報システム
 - O-1 ☆情報システムと社会環境(IS)
 - O-2 ※ライフインテリジェンスとオフィス情報システム(LOIS)
 - O-3 ※ソフトウェアインタプライズモデリング(SWIM)
 - O-4 ※サービスコンピューティング(SC)

【使用言語】

日本語または英語

【論文ページ数・講演時間】

FIT 一般論文ページ数: 2~8 ページ程度
 FIT 査読付き論文ページ数: 4~8 ページ程度
 FIT 査読付き論文(論文誌推薦希望): 6~8 ページ程度
 ※3 ページ目以降から 1 ページ当り 3,000 円のページチャージ
 講演時間: 1 件 20 分(発表時間 15 分, 質疑時間 5 分)

【講演使用機器】

FIT 査読付き論文、FIT 一般論文とも PC プロジェクターとして。PC は各自持参をお願いします。

【講演者の資格】

講演者の資格は以下のとおりです。

会 員	情報処理学会, 電子情報通信学会, 電気学会, 照明学会, 映像情報メディア学会及び電子情報通信学会と協定を締結した海外の学会(KIISE, 大韓電子工学会, IEEE/Com. Soc., IEEE/LEOS, IEEE/EDS, IEEE/CS)または情報処理学会と協定を締結した海外の学会(ACM, IEEE, IEEE/CS, KIISE, CSI)の個人会員に限ります。
非会員	上記の学会会員以外の方。

【講演参加費(税込み)】

講演参加費は、基本原稿掲載料 2 ページ、講演料、聴講料、論文集 DVD-ROM、プログラム、参加章の代金を含みます。なお、DVD-ROM は FIT 開催前に講演者の方に送付しますが、プログラム、参加章は会場でのお引き渡しとなります。

また、登録申込締切り後、講演の取消しをされても講演参加費等お申込内容に基づく費用につきましてはお支払いを頂くこととなりますので御注意下さい。

正会員	10,000 円
学生会員	6,000 円
一般非会員(社会人)	20,000 円
学生非会員	12,000 円

【エキストラページ費用(税込み)】

エキストラページ(3 ページ目以降)を利用された場合には、講演参加費にプラスして以下の費用を頂きます。

エキストラページ費: 1 ページあたり 3,000 円

【別刷代(FIT 査読付き論文の採択者のみ)(税込み)】

FIT 査読付き論文に採択された方には論文の別刷(100 部)を御購入頂きます。別刷代は、エキストラページの有無にかかわらず 20,000 円となります。

【講演者予稿分冊頒布】

講演者には、御自身の論文が掲載されている講演論文集を 1 部に限り、8,000 円で、講演申込時に同時受付致します。御希望の方は講演申込書の「講演論文集を希望する」にチェックをお願いします。

なお、講演論文集の一般販売は、個人購入の場合 1 部 12,000 円、団体購入の場合 15,000 円となります。

【最新情報確認のお願い】

FIT2011 に関する最新情報は、FIT2011Web サイトへ逐一掲載してまいりますので御確認をお願い致します。

◆◆ 有料会告について ◆◆

本会の主催・共催行事および協賛・後援記事の次第書（論文募集，参加案内等）の本誌掲載については，下記により有料にて取り扱っていますのでお知らせします。

記

■掲載条件

件名	内容	掲載単位	掲載料金（消費税込）	
論文募集／ 参加者募集	国際会議，シンポジウム，ワークショップ，講演会，講習会などの論文募集・参加者募集	1 ページ，1/2 ページまたは 1/4 ページ	（主催・共催）	
			1 ページ	52,500 円
			1/2 ページ	31,500 円
			1/4 ページ	21,000 円
			（協賛）	
		広告として取り扱う		
人材募集	国公立教育機関，国公立研究機関， 企業の人材募集	10 行程度	国公立教育機関，国公立研究機関	21,000 円
			賛助会員（企業）	31,500 円
			賛助会員以外の企業	52,500 円
			* 本会誌へ掲載依頼いただいた場合に限り，追加料金 4,000 円で同一内容を本会 Web ページに掲載できます。	

■申込方法

任意の用紙に，件名，申込者氏名，勤務先，職名，住所，電話番号および請求書宛先，Web 掲載の有無（人材募集のみ）などを記載し，掲載希望原稿を添えて下記の申込先へお申し込みください。

■原稿の書き方

- 行事次第書： A4 判カメラレディまたは PDF ファイル（フォント埋め込み）とします。
（1 ページ） 天地 260mm × 左右 175mm
（1/2 ページ） 天地 130mm × 左右 175mm
（1/4 ページ） 天地 65mm × 左右 175mm
* A4 判以外の原稿は縮小または拡大となりますのでご注意ください。

- 人材募集： 次の項目を明記し，E-mail または Fax，郵送にてお送りください。
[募集職種，募集人員，（所属），専門分野，（担当科目），応募資格，着任時期，提出書類，応募締切，送付先，照会先]
* なお，都合により編集させていただく場合がありますので，ご了承ください。

■申込期限

毎月 15 日を締切日とし，翌月号（15 日発行）に掲載します。

■掲載料金

掲載号発行日に料金を請求いたしますので，3 カ月以内にお支払いください。

■掲載申込先

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部門（有料会告係）
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F
E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel (03) 3518-8371 Fax (03) 3518-8375



論文誌ジャーナル掲載論文リスト
Vol.52 No.4 (Apr. 2011)

【特集：インタラクションの基盤技術、デザインおよび応用】

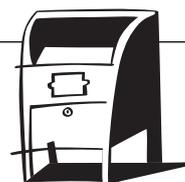
- 特集「インタラクションの基盤技術、デザインおよび応用」の編集にあたって 戸田真志 他
- Andy: 俯瞰カメラとマーカーを用いた移動ロボットアプリケーション開発用ツールキット 加藤 淳 他
- マーカーレス拡張書籍のための2次元文字ブロック検索手法* 宮田章裕 他
- 往来者の注意を喚起するヴァーチャルヒューマン広告提示システム 森 博志 他
- 実世界集合知による利用者の認知地図の可視化とモバイルインタラクションへの適用 末田 航 他
- 機器乗換え時の操作における事前使用機器の影響 高田和豊 他
- 頭部の前後・回転運動に着目したデスクワーク中の割り込み拒否度と頭部運動の関係の分析 木村和行 他
- 大画面壁面ディスプレイ上での影のメタファを利用したポインティング動作におけるフィッツの法則 築谷喬之 他
- 視覚的オブジェクトを用いた探索的メタデータ検索 後藤孝行 他
- ヘッドホンを用いたEOG法による視線入力インタフェース 真鍋宏幸 他
- モジュール型デバイスによる実世界への図形描画と空間計測 飯田一樹 他
- ライフログを用いた遠隔美肌アドバイスシステム 中川真紀 他
- ペンを握る動作を利用したインタラクション手法の検討 鈴木 優 他
- 視触覚の同時刺激によるテクスチャ感覚呈示システムの構築とその評価 福山恵士 他
- Chameleon: 多様な状況下の機器指定を実現する複数インタラクション統合技術 伊藤昌毅 他
- イルゴール：家庭の生活状況を奏でるオルゴール型インタフェースの研究 沖 真帆 他
- 実時間固値解析による対話的な鉄琴のデザイン 梅谷信行 他
- 発言者の主観的判断に基づき発言のエージング速度を個別選択可能とするチャットシステム 小倉加奈代 他
- Web上で編集/派生可能なイラストツールの研究 神原啓介 他
- 可動式カメラによる社会的テレプレゼンスの強化 加藤 慶 他
- タッチログ：爪装着型触音計測に基づく触対象推定システム 牧野泰才 他

【一般論文】

- 架空名義操作不可能な施設配置メカニズムの特徴付け* 東藤大樹 他
- 非決定性回路族における深さと非決定性ゲート数の関係* 岩本宙造 他
- 無線センサネットワークにおける通信傍受とデータ補間を用いた通信量削減手法* 神崎映光 他
- DLNA Probe: DLNA デバイスの操作履歴取得システム* 猿渡俊介 他
- Detection of Bot Infected PC Using Destination-based IP and Domain Whitelists Keisuke Takemori 他
- Hit-list Worm Detection Using Distributed Sliding Window Nobutaka Kawaguchi 他
- 大規模交渉問題における論点グループ数の調整に基づいた自動合意形成機構 藤田桂英 他
- 時々刻々と成長するグラフのための中心性モニタリング 藤原靖宏 他
- 家庭用ゲーム機の加速度センサを用いた歩行動作で表現された感情の識別に関する一考察 † 飯村伊智郎 他
- 単語分布類似度を用いた類推による単語間の意味的關係獲得法 土田正明 他
- 均衡コーパスを規範とするテキスト難易度測定 佐藤理史 他
- エンティティペア間類似性を利用した潜在関係検索 ゲントアンドック 他
- ベース音高と和音特徴の統合に基づく和音系列認識 須見康平 他
- ラスタ走査型ラベル付けアルゴリズムにおける新しい第一走査手法 何 立風 他
- New Techniques of Foreground Detection, Segmentation and Density Estimation for Crowded Objects Motion Analysis Wei Li 他
- 出次数制約付き有向グラフを用いた関連語による文書空間ナビゲーション手法* 島田 諭 他
- 読解効率に基づく英文読解能力測定テストの開発とその信頼性・妥当性の検証 小谷克則 他

*: 推薦論文 Recommended Paper

†: テクニカルノート Technical Note



研究成果を
発表するなら
どこがいいかな？

この分野で
未来の情報社会を
リードできそうだ。

よし！
情報処理学会に入会して
論文を投稿しよう！

詳しくは <http://www.ipsj.or.jp/> をご覧ください

会員募集!!



申込/照会先 一般社団法人 情報処理学会
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台1-5 化学会館4F
Tel(03)3518-8370(会員サービス部門) E-mail:mem@ipsj.or.jp

おひいすらん

このたび規格部門マネージャを拝命いたしました。自己紹介を兼ね、経験談と稚拙ながら提案を1つ。

某電機メーカーに入社して、1年目からソフトウェアエンジニアリング関係の社外委員会に上司の代理という名目で出席を命ぜられる。入社前はコンピュータは素人であった私は怖いもの知らずで、そんな委員会でもたくさんの議論をし、たくさんのサジェスチョンももらった。激しい議論の相手をしてくれた方が、その分野の世界的な権威と後で分かり冷や汗をかいたこともしばしば。

その後、入社10年目を迎えた頃の上司が情報処理の国際規格開発委員会の委員を拝命し、やはり、見よう見まねで、ソフトウェアエンジニアリングの国際規格の影のエディタとなる。影であるので表舞台には出ずに社内で規格案を作成していたのだが、ある日、気がついてみると上司を差し置いて国際会議にエディタとして参加していた。海外での留学経験も業務経験もない私は、国内の委員会の諸先輩の教えを忠実に守り、

入念に論旨を整理しドキュメントを準備して行った。JTC 1傘下の会議とともに、同様の分野の審議が行われる IEEE や EIA (Electronic Industries Alliance) のタスクフォースにも出かけた。こちらの意図を明確に主張すれば、それに応えて実にオープンな議論が展開される。最初は構えて立ち向かっていった若造もいつしか多くの人の知恵を集めて良い技術や良い規格を作れると気がついた。その頃 IEEE で友人になった者が、そのうち JTC 1 に参加し知恵を貸してくれる。

若いソフトウェア・エンジニアを育てるのは徒弟制度だけでなく、社外他流試合に出して、それも標準化に投入するのはいかがでしょうか。

追伸：東日本大震災で亡くなられた方のご冥福と災害に遭われた方の復旧をお祈り申し上げます。

(篠木裕二／規格部門マネージャ)



■ 各種問合せ先 ■

一般社団法人 情報処理学会 (本部) ※ 支部所在地等詳細はリンクされている各支部ページでご参照ください。
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F Fax(03)3518-8375 <http://www.ipsj.or.jp/>

担当	E-mail	Tel (ダイヤルイン)	取り扱い内容
■ 会員サービス部門			
会員	mem@ipsj.or.jp	03-3518-8370	入会, 会費, 変更連絡, 退会, 在会証明, 会員証, 会費等口座振替, 海外からの送金
■ 会誌編集部門			
会誌編集	editj@ipsj.or.jp	03-3518-8371	会誌「情報処理」の掲載内容, 広告掲載, 転載許可, 出版, 著作権
■ 研究部門			
論文誌	editt@ipsj.or.jp	03-3518-8372	論文誌 (ジャーナル) の編集・査読
調査研究/教育	sig@ipsj.or.jp		研究会登録, 研究発表会, シンポジウム, 研究グループ, 論文誌 (トランザクション)
■ 事業部門			
事業/国際	jigy@ipsj.or.jp	03-3518-8373	全国大会, FIT, 連続セミナー, プログラミング・シンポジウム, 国際会議, IFIP 委員会
■ 管理部門			
総務	soumu@ipsj.or.jp	03-3518-8374	理事会, 支部, 役員選挙, 名誉会員
経理	keiri@ipsj.or.jp		出納, 送金連絡
システム企画	sys@ipsj.or.jp		システム企画, 電子化委員会, 電子図書館, IPSJ メールニュース
図書	tosho@ipsj.or.jp		出版物購入
■ 情報規格調査会			
規格部	standards@itscj.ipsj.or.jp		標準化フォーラム 〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館 308-3 Tel (03)3431-2808 Fax (03)3431-6493 http://www.itscj.ipsj.or.jp/

回回 協力協定学会との正会員会費相互割引について 回回

各学協会との協定により、正会員会費が割引になります。ぜひ、ご活用ください。
本会 Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/06mem/kaiin/kyoryoku.html>) にも掲載しております。

●協力協定学会名・相互割引率（正会員会費が割引対象）

IEEE	(The Institute of Electrical and Electronics Engineers, Inc.)	10%
IEEE-CS	(IEEE Computer Society)	10%
ACM	(Association for Computing Machinery)	20%
CSI	(Computer Society of India)	20%
ASTI	(Association Francaise des Sciences et Technologies de l' Information)	10%

※ 協力協定学会の会員費割引については、海外関連団体 (<http://www.ipsj.or.jp/03somu/kanrenlink/kanrendantai/kanren/kaigaikanren.html>) をご参照いただき、直接お問い合わせください。

●本会への申請方法

会費割引を希望する正会員は、次のフォームから申請してください。8月以降の申請は次年度会費を割引します。

正会員会費割引申請フォーム (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-seikaiin-kaihiwaribiki.html>)

初めて申請する方は上記協力協定各学会正会員の会員証コピーを Fax 等で送ってください。割引適用は1学会分といたします。

※ これから入会を希望する方も同様に申請できます。入会申込書（正会員）(https://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/mem/m-nyukai_sei.html) をご確認ください。

■照会先：会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8370 Fax(03)3518-8375

IPSJ メールニュースへ広告を出しませんか？

広告を IPSJ メールニュースで配信しています。本会会員が主な読者なので、ターゲットを絞った広告に最適です。

- 配 信 数：約 9,000 通（原則毎週月曜日配信）
- 読 者 層：本会会員および非会員
- 形 式：テキストのみ。等幅半角 70 字 × 5 行。URL を入れてください。
- 掲載位置：ヘッダ（目次の上）
フッタ（本文の最下行）
- 掲 載 料：ヘッダ：1 回 52,500 円（税込）
フッタ：1 回 21,000 円（税込）
※ それぞれ行数超過については別途相談
- 申 込 先：[広告代理店]
アドコム・メディア（株）E-mail: sales@adcom-media.co.jp
〒169-0073 東京都新宿区百人町 2-21-27 Tel(03)3367-0571 Fax(03)3368-1519
または、情報処理学会 会誌編集部門 E-mail: editj@ipsj.or.jp Tel(03)3518-8371
- 申込締切：毎週水曜日締切、翌週月曜日配信となります。
- 見 本：

— [広告] —
■■■■ ○○セミナー ■■■■
開催日時：1月10日（火）・11日（水）・12日（木）13：00～17：00
会場：○○コンベンションセンター
会費：情報処理学会会員の方には割引があります。
詳細はこちらをご覧ください：<http://www.....com/>

— [広告] —

CONTENTS

Preface

Senryu and Twitter
Rie YASUMI

Special Features

Technical Study Session Map in Japan - Join a Live Session of Engineers! -

- 398 0. Foreword
Hideki TANAKA (National Institute of Informatics)
- 400 1. Technical Study Session is Too Hot!
Hirotaka YOSHIOKA (Rakuten, Inc.)
- 407 2. Back Side of Event Support Tool ATND
Yusuke KAWASAKI and Kenji KOBAYASHI (Recruit Co., Ltd.)
- 413 3. What is Created by Study Session? - From Company Help Study Session
Akihiro TSUKUI (mixi, Inc.), Kazuhiro ARAI (Microsoft Japan Co., Ltd.), Koji SATO (Open Stream, Inc.) and writing by Kazuhiro SOGA (Aoyama Media Lab.)
- 420 4. How to Make a Study Session
Shinjiro WATANABE (Feelance Programmer) and Masanori HASHIMOTO (Nulab, Inc.)
- 425 5. Technical Study Session Map in Japan - Message from Organizers

Special Features

Advance of Virtual Reality and Interactive Media by Their Interaction

- 473 0. Foreword
Kunihiro NISHIMURA (The Univ. of Tokyo) and Koichi TAKAGI (KDDI R&D Labs, Inc.)
- 474 1. How to Create the Future - Ars Electronica as a Creative Platform
Hideaki OGAWA and Christopher LINDINGER (Ars Electronica Futurelab)
- 481 2. Digital Public Art in HANEDA AIRPORT "AIR HARBOR" Exhibition
Kunihiro NISHIMURA (The Univ. of Tokyo)
- 492 3. Digital Museum
Michitaka HIROSE (The Univ. of Tokyo)
- 498 4. Digital Archives and Virtual Reality
Makoto ANDO and Tomoaki SAITO (TOPPAN PRINTING CO., LTD.)
- 506 5. Interactive Exhibition Experience & Design that Creates Communications
Masahiro NAKAGAWA and Kenji OGINO (NOMURA Co., Ltd.)

Tutorials

Smartphone Programming - iPhone and Android

- 514 0. Foreword
Masahiko TSUKAMOTO (Kobe Univ.)

- 517 1. Introduction to iPhone Programming
Satoshi NUMATA (Osaka Electro-Communication Univ.)
- 527 2. Introduction to Android Programming
Takashi KISHIMA and Sohei ISHIMARU (Nanoconnect, Inc.)

Articles

- 564 The World of Open-standardized Data for Office Suite
Hiroyuki SHIMIZU and Jun IIO (Mitsubishi Research Institute, Inc.)

Senior Column : Messages on Favorite IT

- 471 Create the Environment to Induce Young People to Nurture Outgoing Spirits
Takashi MASUDA (Funai Foundation for Information Technology)

Information Resources : Trails of RoboCup - Chart toward 2050 -

- 540 Welcome to Robocup Rescue Simulation League
Fujio TORIUMI (Nagoya Univ.)

Series : Peta-gogy

- 553 Column : The People Living in Darkness would Like to See a Great Light
Eiko TAKAOKA (Sophia Univ.)
- 554 Did You Know?
Katsuhiko KAKEHI (Waseda Univ.)
- 559 Past, Present and Future of the Subject "Information Study" in Japanese Highschools (I)
Yasushi KUNO (Univ. of Tsukuba)

Column : "I" Report

- 572 MDD Robot Challenge 2010
Takao FUTAGAMI (Toyo Corp.)
- 577 ITU-T SG 17 Meeting
Youki KADOBAYASHI (Nara Institute of Science and Technology / National Institute of Information and Communications Technology)

Series : Quick Report on Doctoral Theses Recommended by IPSJ SIGs

- 582 A Study on Intelligent Agents in Ubiquitous Networks
Kenta CHO (Toshiba Corp.)
- 583 Exploiting Regularities in Natural Acoustical Scenes for Monaural Audio Signal Estimation, Decomposition, Restoration and Modification
Jonathan LE ROUX (NTT Communication Science Labs.)

読後のご意見をお送りください

本誌では、現在約 100 名の方々に毎号のモニタをお願いしておりますが、より多くの読者の皆さんからのご意見、ご提案をおうかがいし、誌面の充実に役立てていきたいと考えておりますので、毎号巻末に掲載しております所定の用紙または Web ページ (<http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enquete.html>) をお使いいただき、奮って事務局までお寄せください。

一般社団法人 情報処理学会 会誌編集部

〒 101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5 化学会館 4F E-mail:editj@ipsj.or.jp Fax(03)3518-8371

ご意見をお寄せください！

【5月10日頃までにお出しください】

宛先 一般社団法人 情報処理学会 モニタ係（下記のいずれからも送付できます）
http://www.ipsj.or.jp/02moshikomi/enq/enq5204.html Fax(03)3518-8375 E-mail:editj@ipsj.or.jp
(E-mail で送信される場合は、10-1-a のようにコードでお答えください)
※ ご意見の投稿に伴う、住所、氏名、所属などの個人情報については、学会のプライバシーポリシーに準じて取り扱いたします。
http://www.ipsj.or.jp/03somu/privacypolicy/privacypolicy.html

[コード]

- (1) ご氏名
- (2) ご所属 Tel. () -
- (3) E-mail:
- (4) 業種：(a) 企業（サービス業）(b) 企業（製造業）(c) 研究機関 (d) 教育機関（大学・高専など）
(e) 学生 (f) その他 4- []
- (5) 職種：(a) 研究職 (b) 開発・設計 (c) システムエンジニア (d) 営業 (e) 本社管理業務
(f) 会社経営・役員・管理職 (g) 教官/教員（大学・大学院）(h) 教職員（小・中・高校・高専など）
(i) 学生 (j) その他 5- []
- (6) 年齢：(a) 10代 (b) 20代 (c) 30代 (d) 40代 (e) 50代 (f) 60代以上 6- []
- (7) 性別：(a) 男性 (b) 女性 7- []
- (8) あなたはモニタですか？：(a) はい (b) いいえ 8- []
- (9) あなたのご意見は「会員の広場」（会誌および Web）に掲載される場合があります。その場合：
(a) 実名可（氏名のみ掲載）(b) 匿名希望 (c) 掲載を希望しない 9- []
- (10) 今月号（2011年4・5月号）の記事はお役に立ちましたか。下記の記事すべてについて評価をご回答ください。
[a …大変よい b …よい c …普通、どちらとも言えない d …悪い e …読んでいない]
- 巻頭コラム：川柳と twitter 10-1- []
- 特集：全国技術系勉強会マップ
1. 技術系勉強会が熱い 10-2- []
2. イベント開催支援ツール「ATND（アテンド）」の裏側 10-3- []
3. 勉強会は何を生み出したか？ 勉強会を支援する側から 10-4- []
4. よく分かる！勉強会の作り方 10-5- []
5. 全国技術系勉強会マップ 10-6- []
- IT 好き放題：若者が内向きなのではない 10-7- []
- 特集：バーチャルリアリティとインタラクティブアートの相互作用による発展
1. 未来のつくりかた 10-8- []
2. 羽田空港におけるデジタルパブリックアート「空気の港」展 10-9- []
3. デジタルミュージアム 10-10- []
4. デジタルアーカイブとバーチャルリアリティ 10-11- []
5. インタラクティブな展示体験とコミュニケーションを創発するデザイン 10-12- []
- スマートフォンプログラミング：1. iPhone プログラミング入門 10-13- []
- スマートフォンプログラミング：2. Android プログラミング入門 10-14- []
- ロボカップ道しるべ：レスキューシミュレーションリーグ 10-15- []
- べた語義：闇に住む民は光を見たい 10-16- []
- べた語義：ご存知でしたか？ 10-17- []
- べた語義：高校教科「情報」のこれまでとこれから（前） 10-18- []
- ここまで来たオープンなオフィス文書の世界 10-19- []
- "I" 見聞録：MDD ロボットチャレンジ 2010 10-20- []
- "I" 見聞録：ITU-T SG17 会合 10-21- []
- 研究会推薦博士論文速報 10-22- []
- (11) 本号で最も良かった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。
上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔11-1〕良かった記事 11-1- []
- 〔11-2〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 11-2- []
- a) 技術・研究動向がよく分かった b) 知的興味をかきたてられた c) 新たな知識を得ることができた d) 内容が平易で理解しやすかった
e) その他（具体的に下記にご記入ください）
- (12) 本号で最も良くなかった記事は何ですか？ 上記〔10〕の設問の記事番号から1つだけ選び（例：10-8の記事の場合は「8」と記入）、その理由をご回答ください。上記に掲載されていない記事の場合はタイトルを直接ご記入ください。
- 〔12-1〕良くなかった記事 12-1- []
- 〔12-2〕選んだ理由（下記から、いくつでも選択可） 12-2- []
- a) 記事の内容に誤りがあった b) ありきたりの内容だった c) 記事が難しすぎた d) 何を言いたいのか分からなかった e) 宣伝の意図が強すぎる
f) テーマに興味を持てなかった g) その他（下記に具体的に下記にご記入ください）
- (13) 設問〔10〕で読んでいないと答えた記事について、その理由を教えてください。
- (14) 会誌に対するご意見やご感想、著者への質問、今後取り上げて欲しいテーマなどありましたらご記入ください。
（スペースが足りない場合はお手紙ですが別紙を追加してください）

全国勉強会マップの企画を伺った際、壮大な企画であると感じました。勉強会には、個人的に以前から参加をしていました。しかし、これまでのそれぞれの勉強会は、1つ1つが個であり、疎であったと捉えています。それが本企画によって、勉強会同士がつながりを見せ、密になる1つのきっかけになるのではないかと考えているところです。また、セクション3のインタビ

ュー記事でも紹介したように、IT企業では勉強会を積極的に支援しています。そのような動きは、勉強会が草の根的な活動から、新たな段階にシフトしているからかもしれません。今後も、勉強会という活動には、注目し続けていきたいと思っています。
(曾我一弘／本特集ゲストエディタ)

工学分野の方と芸術分野の方がおしゃべりをすると話がかみ合わないことがままありますが皆様もそういう経験をされたことはないでしょうか？それは、単純にお互いの専門用語が異なるからだけでなく、もともとの発想が大きく異なっているからだと思います。そのため、両分野の考えを相互に作用させて発展させていこうという「メディアアート」の試みは並大抵の努力では成し得ないものです。そのかわりに、この両者が融合することにより、単一の分野では成し得なかった新たな発見をすることができるようになり、両分野発展のための光明となることが期待できます。

そこで、最初は「ITとアート」というタイトルで企画をしておりました。ところが、そうするとあまりにも対象が広範にな

りすぎてしまい、何の特集をしているのか分からなくなることを危惧し、バーチャルリアリティ技術（工学）がインタラクティブアート（芸術）にどのように入り込んでいっているのか？どのように相互作用させたのか？に対象を限定し、タイトルを「バーチャルリアリティとインタラクティブアートの相互作用による発展」とさせていただきました。

おそらく、本誌の読者の皆様は工学分野の方が多いと思いますが、今回の特集をお読みいただくことで前述のような新たな発見を生んでもらうべく、芸術分野の方にも寄稿していただいたつもりです。工学系の方々にも分かるような記述にしていたつもりですが、いかがだったでしょうか？

(高木幸一／本特集エディタ)

次号（6月号）予定目次

編集の都合により変更になる場合がありますのでご了承ください。

「特集」クラウドを支えるデータストレージ技術

クラウドストレージ標準化の最新動向／万人のためのクラウド情報サービス Evernote. その仕組みと展望／ROMAの概要とその利用事例について／データクラウド研究の潮流と最新動向／クラウド時代を支えるグリーンデータセンタのストレージ技術動向／iSCSIとFCoEによるストレージ構築 ～ストレージネットワークの進化～／クラウドストレージにおけるプライバシー保護とデータ利活用

「小特集」時間とコンピュータ

ロボットと時間／ジェミノイドの時間／将棋と時間／コンピュータ将棋と時間／デジタルゲーム AIの時間—時間の流れを認識する AI—／時刻表現の状況依存性／時間分岐／人生の棋譜化／現在＝潜在性の共鳴：群れをモデルとする時間／時間とコンピュータ／宇宙開闢とプランクタイム／量子コンピューティングとタイムマシン／生物学の中の時間／聴覚と時間／ネット・ケータイ時代の時間社会学／ワーク・ライフバランス実現のために～時間×ITツール～／インタフェースの時間／電子文具の時間／時の可視化手段としてのライフログ／ソフトウェアの時間／ソフトウェア開発と時間／Y2K問題の教訓とリスクマネジメント／アルゴの国の時間／社会と共に成長する情報システムとしてのシンビオティック・システム／時の栖—時間と通信—

解 説：渋滞の減少に貢献する道路交通情報の技術…………… 鈴木信雄 他

解 説：いつでも、「どこ」が正確に—準天頂衛星初号機みちびきによって変わる未来— …………… 明神絵里花
道しるべ：ロボカップ道しるべ

連 載：研究会推薦博士論文速報／古機巡礼／二進伝心／ぺた語義

コラム：“I” 見聞録／巻頭コラム／シニアコラム：IT好き放題

広告のお申込み

■広告料金表

掲載場所	4色	2色	1色
表2	346,500円 (税抜330,000円)	—	—
表3	288,750円 (税抜275,000円)	—	—
表4	404,250円 (税抜385,000円)	—	—
表2対向	315,000円 (税抜300,000円)	—	—
表3対向	278,250円 (税抜265,000円)	199,500円 (税抜190,000円)	162,750円 (税抜155,000円)
前付1頁	262,500円 (税抜250,000円)	173,250円 (税抜165,000円)	141,750円 (税抜135,000円)
前付1/2頁	—	—	84,000円 (税抜80,000円)
前付最終	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
目次前	—	—	155,400円 (税抜148,000円)
差込 (A判70.5kg未満 1枚)	288,750円 (税抜275,000円)		
差込 (A判70.5kg～86.5kg 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		
同封 (A判 1枚)	367,500円 (税抜350,000円)		

■「情報処理」

発行 一般社団法人 情報処理学会
 発行部数 25,000部
 体裁 A4判
 発行日 毎当月15日
 申込締切 前月10日
 原稿締切 前月20日
 広告原稿 完全版下データ
 原稿寸法 1頁 天地260mm×左右180mm
 1/2頁 天地125mm×左右180mm
 雑誌寸法 天地297mm×左右210mm

■問合せ・お申込み先

〒169-0073 東京都新宿区百人町2-21-27
 アドコム・メディア(株) (Tel/Fax/E-mailは下に記載)

*原稿制作が必要な場合には別途実費申し受けます。
 *同封のサイズ・割引の詳細についてはお問合せください。

掲載広告の資料請求

掲載広告の詳しい資料をご希望の方は、ご希望の会社名にチェック☑を入れ、送付希望先をご記入の上、Faxにて(またはE-mailにて必要事項を記入の上)アドコム・メディア(株)宛にご請求ください。

■「情報処理」 52巻4・5号 掲載広告(五十音順)

- インタフェース……………表4 サイエンス社……………表2対向
 オーム社……………表2

すべての会社を希望

■資料送付先

フリガナ
お名前 _____

勤務先 _____ 所属部署 _____

所在地 (〒 _____) _____

TEL (_____) _____ - _____ FAX (_____) _____

ご専門の分野 _____



お問合せ・お申込み・資料請求は
広告総代理店 アドコム・メディア(株)

Tel.03-3367-0571 Fax.03-3368-1519 E-mail: sales@adcom-media.co.jp



賛助会員のご紹介

本会をご支援いただいております賛助会員をご紹介します。

Web サイト (<http://www.ipsj.or.jp>) 「会員サービス」のページからも各社へリンクサービスを行っておりますので、ぜひご覧ください。

照会先 一般社団法人 情報処理学会 会員サービス部門 E-mail:mem@ipsj.or.jp Tel.(03)3518-8370

●●● 賛助会員 (20 ~ 50口)

HITACHI
Inspire the Next

(株) 日立製作所

FUJITSU

富士通 (株)

NEC

日本電気 (株)

MITSUBISHI
Changes for the Better

三菱電機 (株)

TOSHIBA

(株) 東芝

IBM

日本アイ・ビー・エム (株)

●●● 賛助会員 (10 ~ 19口)

Google

グーグル (株)

NTT docomo

(株) NTT ドコモ

NTT

日本電信電話 (株)

Microsoft

日本マイクロソフト (株)

●●● 賛助会員 (3 ~ 9口)



(株) NTT データ



NTTコムウェア
(株) NTT コムウェア

OKI

沖電気工業 (株)

楽R天

楽天 (株)

ilovex

(株) アイロベックス

uejima

(株) うえじま企画

SONY

ソニー (株)

Panasonic
ideas for life

パナソニック (株)

Plat'Home

ぶらっとホーム (株)